

委託会計電気自動車利用システム研究

収入の部 (自昭和50年4月1日 至昭和51年3月31日) (単位:円)

費 目	金 額
委 託 費	34,471,000

支出の部

費 目	金 額
労 務 費	5,227,000
そ の 他 の 経 費	29,244,000
合 計	34,471,000

第16回 FISITA 国際会議

収入の部 (自昭和50年4月1日 至昭和51年3月31日) (単位:円)

費 目	金 額
登 録 料	24,800,000
業 界 分 担 金	35,800,000
自 動 車 技 術 会 負 担 金	15,000,000
補 助 金	12,000,000
合 計	87,600,000

支出の部

費 目	金 額
印 刷 製 本 費	9,664,000
編 集 費	2,230,000
翻 訳 料	2,210,000
會 場 借 上 料	13,080,000
會 場 設 備 費	3,870,000
レ セ プ シ ョ ン 費	5,000,000
同 連 行 事 通 訳 費	13,441,000
関 車 補 助 費	2,200,000
委 員 車 馬 賃	2,300,000
海 外 旅 費	3,600,000
人 件 費	9,300,000
會 議 費	3,360,000
通 信 費	2,140,000
印 刷 事 務 用 品 費	3,300,000
雑 費	3,000,000
諸 経 費	1,463,000
予 備 費	7,442,000
合 計	87,600,000

告ごおり承認された。(p.829)

第3号議案:入会金および会費変更にとりなす定款の一部変更に関する件

本件、藤田担当理事より入会金ならびに会員会費変更にとりなす定款の一部変更に関する資料にもとづき説明が行われ承認された。

第4号議案:評議員選挙規程変更に関する件。

本件、志熊担当理事より評議員選挙規程の一部変更(案)に関する説明が行われ、承認された。

第5号議案:昭和50年度事業計画に関する件

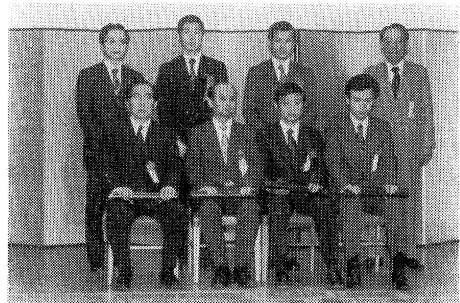
本件、藤田担当理事より昭和50年度事

業計画(案)にもとづき説明が行われ承認された。

第25回自動車技術会賞授賞式

昭和50年5月15日(木)16:00~16:20 東条会館において挙行。
式は近藤政市審査委員長より審査の経過報告が行われ、中川会長よりそれぞれ賞状ならびに賞品が授与された。

予混合ガソリンエンジンのNOx生成量に関し、精度のよい予測手法を開発しNOx排出減のためにはEGRがもつと



第25回自動車技術会賞授賞者
前列左から黒田 裕、中島泰夫、杉原邦彦、高木靖雄の諸君、
後列左から中村達彦、中野謙一、今野勝年、林 敏昭の受賞者諸君

業計画(案)にもとづき説明が行われ承認された。

第6号議案:昭和50年度予算に関する件。

本件、森田担当理事より昭和50年度予算(案)にもとづき説明が行われ、承認された。

第25回自動車技術会賞授賞式

昭和50年5月15日(木)16:00~16:20 東条会館において挙行。

式は近藤政市審査委員長より審査の経過報告が行われ、中川会長よりそれぞれ賞状ならびに賞品が授与された。

<学術賞>

(1)予混合ガソリンエンジンのNOx生成および制御に関する研究

(受賞者)
黒田 裕(日産自動車・中央研究所、昭和33年慶大機械工学科卒)
中島泰夫(日産自動車・中央研究所、昭和34年東京工業大物理学科卒)
杉原邦彦(日産自動車・中央研究所、昭和42年早大機械工学科卒)
高木靖雄(日産自動車・中央研究所、昭和45年北海道大機械工学科卒)

(授賞の理由)
予混合ガソリンエンジンのNOx生成量に関し、精度のよい予測手法を開発しNOx排出減のためにはEGRがもつと

も効果のある手段の一つであることを立証した。

これらは今後のNOx低減技術の有力な基礎となるもので、その寄与は極めて大きい。

(主な業績)

- ・NOx排出制御に関する排気還流効果の実用的な解析方法、自動車技術会論文集 No. 2, 1971.

- ・Heat capacity changes predict NOx reduction by EGR, SAE Paper 710010.

- ・Math. Modelによる予混合ガソリンエンジンのNOx生成量解析、自動車技術会論文集 No.6, 1973.

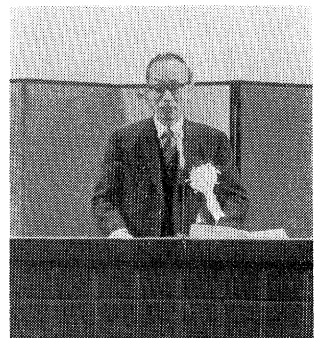
- ・燃費を考慮したローエミッションエンジンへのアプローチの一例、昭和49年5月自動車技術会講演会へ発表。

- ・Potentiality of the modification of combustion rate for NOx formation control in the pre-mixed SI engine, SAE Paper 750353.

(2)有効波による自動車強度部品の加減速試験方法の研究

(受賞者)

今野勝年(トヨタ自工・第2技術部、昭和39年東北大機械工学科卒)



技術会賞の審査経過報告をする近藤政市審査委員長



中野謙一(トヨタ自工・第2技術部、東北大金属材料科卒)

中村達彦(トヨタ自工・第2技術部、昭和43年東北大機械工学科卒)

(授賞の理由)

従来より自動車強度部品の信頼性保証には、実験室内での加速疲れ試験が重要な役割を果たしてきたが、従来の方法には評価精度、試験時間の点で大きな問題があった。今回は、これらの欠点を克服し、新しい加速疲れ試験方法を発案し、基礎実験を行いその妥当性、有効性を確認した。

特にカギとなる無効振幅除去方法を一般化、定量化することに成功し、試験方法を実用化させた点が注目される。強度評価の精度向上、試験時間短縮を通じて省資源、コストダウンに大きく寄与するものと考えられ、研究の成果は高く評価できる。

<技術賞>

(3) 車両評価試験法の確立と省力化試験の実用化

(受賞者)

林 敏昭(トヨタ自工・第3技術部、昭和16年金沢高工卒)

(授賞の理由)

昭和17年入社以来、技術・品質保証・製造の各部門を歴任し、総合的な自動車技術の高揚に寄与し数多くの業績を挙げってきた。

昭和44年以降はこれまでの経験と創意を生かし、試作車両の試験評価の体系化および省力化試験の実用化を統括・推進してきた。特に、独創的な制御方式による実車走行試験用の「無人8の字巡回試験装置」を実用化し、この自動試験装置により試験の効率および再現性が飛躍的に向上し、さらに試験担当者の肉体的・精神的負担をも軽減させた。これらの省力化・自動化に対する考え方と実用化技術の波及的効果は非常に大きい。

自動車交通の安全と事故に関するシンポジウム

1. 日 時： 昭和50年 8月26日(火)、27日(水)の2日間
2. 会 場： (株)自動車会館大会議室 (Tel. 03-264-7794) 東京都千代田区九段南 4-8
3. プログラム： 8月26日(火) 9:20~16:45

時 間	演 題	講 師
9:20~9:30	あ い さ つ	人間工学部門委員会 委員長 佐 藤 武 君
9:30~10:00	新統計原標による事故統計	科学警察研究所交通部 森 尚 雄 君
10:00~11:00	車両火災事故調査	いすゞ自動車(株) 富 沢 重 男 君
11:00~11:30	Injury Scale (J-AIS) について	(財)日本自動車研究所 松 野 正 徳 君
12:45~13:55	金沢における事故調査	運輸省交通安全公害研究所 佐 藤 隆 君
14:15~16:45	北海道における事故調査 (1) (車 両) (2) (環 境)	北海道自動車短期大学 堀 内 数 君 北海道大学 加 来 照 俊 君

8月27日(水) 9:30~16:40

時 間	演 題	講 師
9:30~10:30	視認と交通安全に関する国際会議報告	(社)日本交通科学協議会 富 永 誠 美 君
10:30~11:45	ドライバの行動と意識レベルについて	東京医科歯科大学教授 日 向 野 春 房 君
13:00~15:10	死亡・重傷事故とそのモデルによる再現の研究 (1) 事故調査・解析 (2) 模型による再現	日産自動車(株) 富 家 卓 也 君 成蹊大学工学部 江 守 一 郎 君
15:30~16:40	第4回国際交通安全会議報告	日産自動車(株) 後 藤 健 一 君

▶昭和50年度春季学術講演会

昭和50年 5月13日(火)~15日(木)にわたり東京・東条会館において2会場で開催。

講演は52テーマにのぼり活発な討論が行われた。

講演会の座長には広安博之(広大)、松岡 信(東工大)、酒井靖郎(日産)、斎藤孟(早大)、林 靖享(豊田中研)、前田輝夫(日産)、佐藤 武(慶大)、小林伸行(トヨタ)、樋口健治(東京農工大)、徐 錫洪(JARI)、宮部英也(明治大)、五味 努(上智大)、古浜庄一(武蔵工大)、酒井 宏(東大)、北野昌則(防大)、斎藤 安(東京農工大)、岩元貞雄(JARI)、酒井秀男(JARI)、佐藤 豪(慶大)、天野益夫(トヨタ)、兼重一郎(いすゞ)の各氏が担当

した。

(751 前刷集/B5判 354 ページ/会員頒布価 3,300円)

▶昭和50年度春季大会・懇親会

懇親会は昭和50年 5月15日(木)18:00~19:30東京会館エメラルドルームにおいて開催。100名におよぶ出席者により盛会裡に終了した。

▶見学会

工場見学会は昭和50年 5月16日(金)5班により開催。

- (1) 日産自動車・座間工場
- (2) 日本自動車研究所
- (3) 本田技研工業・狭山工場
- (4) 国鉄鉄道技術研究所
- (5) トヨタ自工・上郷、高岡工場

自動車技術会 編集

自 動 車 技 術

昭和50年 7月25日 印刷

昭和50年 8月1日 発行

Vol. 29, No. 8, 1975.

定価 1000円 (〒28円)

発行所 社団法人自動車技術会
東京都港区高輪1丁目16番15号
(郵便番号) 108 電話 東京 (03) 447-1681 (代)
振替 口座 東京 196,725 番

編集発行人 北 村 正 雄
印刷所 明 善 印 刷 株 式 会 社